

7/11(土) 天候:あめ☂ 参加:9家族18名 第32回米づくり体験交流会を余目新田で開催しました。圃場提供者は5代目佐藤吉弘さん、吉法さん親子の田んぼで今年で7年目になります。

今年は新型コロナ感染防止対応のため4、5、6月の活動を中止しました。

この日は、追肥作業と幼穂観察です。曇り空からスタートしましたが、途中、雨に降られながらの1回目体験となりました。JAあまるめの阿部部長の挨拶より「米という字は八十八と書きますが88の手間をかけて作られる」というお話がありました。交流田を通してお米ができるまでの過程をみなさんに知っていただき、ごはんを味わってもらえたら幸いです。JAあまるめ担当者に幼穂を見せていただいた後に、田んぼに肥料をまく作業を全員で行いました。泥にぬかるみ悪戦苦闘しながら作業を終えました。泥んこを楽しむ子どもたちもいましたよ。

雨でじっくり観察できなかった幼穂…

自宅で観察する茎を参加者にお渡しするのを忘れてしまい、ごめんなさい(;▽;)

こめ通信2020

追肥作業&幼穂観察

参加者のみなさん
雨の中の作業お疲れ様でした。



追肥作業後はオプション企画

トルコギキョウハウスを見学しました。

昨年11月に定植したトルコギキョウが1メートルを超える高さに成長し、きれいな花を咲かせていました。4月に定植したものはまだ小さい葉でしたよ。トルコギキョウは道の駅やJAあまらめ生活館(Aコープあまらめ)で販売されるそうです。

新型コロナの影響で花の需要が減っており生産者さんもお苦労されています。生産者を応援として、ステイホームはお家に花を飾り癒しの空間を作ろうと思いました。

実り多き秋になりますように。10月の稲刈りお楽しみに♪



高橋静香



4月に定植したトルコギキョウです↑

